

自然散策マップ

野鳥を楽しむ 大神保・二重川コース

この地域は、二重川を境に白井市と接しています。河川、雑木林、湿地、県民の森と水と緑に囲まれた自然豊かなコースです。県民の森や二重川では、たくさんの野鳥に出会えます。



コゲラ

スズメ程度の大きさの日本で一番小さなキツツキで、森でみることができます。コゲラに出会うためには、森の中を歩くときに、音に注意しながら歩いてみてください。「コッココッココッコ」といった乾いた音が聞こえることがあります。これはコゲラが木をつつくドラミングの音で、他にも「ギーギー」といった鳴き声を頼りに垂直に木の幹を上り下りする様子が見られます。

4~5 二重川沿いの道



船橋の中でも大きな河川のうちのひとつ、二重川沿いを散策できる道です。カルガモやカワウ、ダイサギ、カワセミなどの水鳥が見られるほか、周辺の草地ではホオジロ、カシラダカなども見られます。
※夏場は草が生い茂り、歩きにくいこともあります。



ダイサギ

いわゆるシラサギと呼ばれるサギは、白いサギ類の総称で、シラサギという名前のサギがいるわけではありません。ダイサギは名前の通りその中でも大きなサギで、河川、池、水田などの水辺に生息し、水辺を歩きながら餌を探す様子が見られます。



3 ハンゲショウの湿地



県民の森から東に向かって歩くとハンゲショウが群生する湿地が見られます。ハンゲショウは湿地特有の植物で、半夏生と呼ばれる暦日(7月2日頃)のころ花が咲き、葉が白くなることからこの名前が付いたといわれています。緑の湿地の中に目立つ白い葉は8月頃にはまた緑色に戻り、他の植物にまぎれてしまいます。

2 船橋県民の森



クヌギ、コナラ等を中心とした明るい雑木林の中は、多くの生き物のすみかとなっており、林内を通り抜ける小道を歩きながら、自然を楽しむことができます。コゲラ、アカハラ、オナガ、ウグイスなどの野鳥も多く見られます。



コース 全長 5.2km	
① 県民の森バス停	1000m
② 船橋県民の森	1500m
③ ハンノキ林と湿地のハンゲショウ	130m
④ 富ヶ谷橋 (二重川沿いの道)	1200m
⑤ 富ヶ沢橋	1400m
① 県民の森バス停	1400m

- ・ゴミは持ち帰りましょう。
- ・動植物を大切にしましょう。
- ・社寺等の敷地に立ち入る場合は、施設や他の利用者に迷惑をかけないようにしましょう。
- ・ヘビやハチに注意しましょう。

裏側は鈴身川コース